

日本細菌学会

2022年第2回理事会議事録

●日時：2022年9月2日（金） 10:00～13:00

●実施形態：web会議（zoom形式）

●出席者：赤池孝章 理事長、

川岸郁朗、河村好章、寺尾 豊、飯田哲也、小椋義俊、垣内 力、金城雄樹、小松澤 均、富田治芳、
内藤真理子、中根明夫、長宗秀明、東 秀明、藤永由佳子、横田伸一 各理事
大崎敬子、柳澤直子 両監事、

●欠席者：菊池 賢 理事、荒川宜親 評議員会議長、川端重忠 評議員会副議長

※五十音順 敬称略

I. 開会（理事長挨拶）

赤池理事長より開会の挨拶がなされた。

II. 確認事項

前回理事会、評議員会、会務総会の議事録（案）について

追加修正なく議事録は確定した。

III. 総会報告

1) 第95回総会終了報告（菊池 賢 総会長）

菊池理事がご欠席のため、次回の理事会でご報告頂くこととなった。

2) 第96回総会準備状況報告（飯田哲也 総会長）

対面中心のハイブリッド開催の予定であること、協賛金の応募状況など、準備状況について説明がなされた。また、同時期開催の食品微生物学会（大会長：山崎伸二先生、会場：大阪、会期：9月中）との連携（双方会員価格で参加可能とする）について報告があった。

IV. 報告事項

1) 総務部会報告

①総務・渉外担当報告（河村理事）

会員数の推移について報告がなされた。

②選挙関連担当報告（金城理事）

学会賞選考委員、名誉会員選考委員の選考結果について報告がなされた。

2) 財務部会報告

①会費・会計担当報告（河村理事）

2022年度会計の中間報告がなされた。

3) 広報部会報告

①広報・メディア分野担当報告（河村理事）

報告事項なし。

②HP・SNS分野担当報告（川岸理事）

報告事項なし。

4) 産官学連携部会報告

①産官学連携分野担当報告（菊池理事）

報告事項なし。

5) 学術部会

① 学術支援・評価担当報告（長宗理事）

報告事項なし。

② 学術企画分野

1. シンポジウム等企画担当報告（長宗理事）

報告事項なし。

2. バイオセーフティー担当報告（飯田理事）

報告事項なし。

3. ICD 制度協議会等担当報告（菊池理事）

報告事項なし。

③ 学術交流分野

1. 日本微生物学連盟／日本学術会議担当報告（金城理事）

報告事項なし。

2. 日本医学会連合担当報告（金城理事）

報告事項なし。

3. 予防接種推進専門協議会担当報告（菊池理事）

赤池理事長より政府に対するワクチンリテラシーの提出に関する準備状況の報告がなされた。

6) 教育部会報告

①次世代教育・人材育成担当報告（垣内理事）

横田理事より、第 16 回若手コロッセウムの開催報告がなされた。演題約 50 題、参加約 60 人の規模で開催された。小椋理事より、第 17 回若手コロッセウム（久留米市）の準備状況について報告がなされた。

②教育資源発掘・保存担当（内藤理事）

報告事項なし。

7) 出版部会報告

①学会誌担当報告（藤永理事）

報告事項なし。

②M I 誌担当報告（寺尾理事）

IF や投稿数が順調に上昇していることなどの報告がなされた。

③用語集担当報告（富田理事）

報告事項なし。

8) 国際交流部会報告

①IUMS 等担当報告（東理事）

報告事項なし。

③日韓微生物等担当報告（小松澤理事）

報告事項なし。

9) 社会交流部会

①研究倫理・安全保障分野担当報告（赤池理事長）

報告事項なし。

②利益相反担当報告（中根理事）

報告事項なし。

10) その他

事務局より学会賞と名誉会員の推薦状況の報告がなされた。現在までに浅川賞 1 名、小林六造記念賞 3 名、黒屋奨学賞 6 名、名誉会員 1 名の推薦があった旨、報告がなされた。

V. 審議事項

1) 第 97 回総会長について (2024 年開催)

藤永理事から第 97 回総会長として横田伸一先生 (札幌医大) の推薦があり、異議なく承認された。

2) 第 98 回総会長について (2025 年開催)

赤池理事長から各理事へ総会長候補者の推薦が依頼された。

3) 第 96 回総会企画について

長宗理事から総会企画案について説明がなされた。異議なく承認された。

4) 日韓国際微生物学シンポジウムについて

小松澤理事から第 15 回日韓国際微生物学シンポジウムの準備状況について説明がなされた。10月14日の Yeosu での対面開催が予定されており、日本からは赤池理事長に加えて、7名の口頭発表とポスター発表を含め 20名程度の参加を想定。韓国側からの旅費の支援はなく、本会から 50万円の支援を予定している等の説明があった。異論なく承認された。

5) 学会賞の推薦要項について

小林一三会員から、推薦書の「図表は使用しないこと」との記載があるが、削除してほしいとの依頼があった。寺尾理事から、記載の経緯の説明があり、協議の結果、現在の記載を残し、変更しないことが承認された。山崎選考委員長に報告し、選考委員会から小林会員に返答することとなった。

6) 「コスモス国際賞受賞記念講演会」の後援依頼について

赤池理事より補足資料の説明があり、異議なく承認された。

7) 法人化について

赤池理事長より、法人化を検討していくため、経緯まとめ、今後のスケジュール表、また、2042年までの試算表をもとに説明がなされた。

富田理事より、以前 (堀口理事長体制時) 財政改善の為に各種活動や支出を見直したことがある。財政が、ある程度回復していることから法人化を検討していくのであれば、法人化の為に支出するのではなく、総会の予算額を増額して総会開催形態を見直すなど、現状 (任意団体) のまま学会活動を見直す方向性としてはどうか、との意見が出された。

東理事より、試算表について、提示された内容より状況が悪化した場合は想定しているのか、との質問が出された。

赤池理事長より、社会的信用を得ること、また、より寄付を受けやすくする (ことで収入も上がる) 方向性が良いと考えているが、評議員会で各位の意見を確認することが述べられた。

試算については、最悪を想定した極端な試算であり、これより悪化する場合は学会が維持できない状況になり、現実的ではないが、どうしても必要となる状況が発生した場合には、会費の再検討を行う可能性もあるとのことであった。

8) 評議員会 (9月6日(火) 11時~13時)の進行について

9) その他

VI. 閉会